


■第4回淀川水系猪名川圏域河川整備懇談会での意見等への対応

	指摘・質問事項	委員	懇談会での対応	懇談会後の対応
1	正常流量の目標に関して、一庫ダムによる効率的な水の補給を行うことで、下流側の小戸地点で維持できるのか。	三橋	一庫ダムからの補給により、機能は十分に果たしている状況である。年間で見ると、平均渇水流量 1.04m ³ /s は正常流量 1.4m ³ /s を満たしていないが、平均的な流量は正常流量を満足しているという状況である。	懇談会回答で済み。 (関連事項として下記の対応)
2	渇水時に正常流量の数値は満足していても、魚類などの水生生物に対して淵などの深みを確保するように河道計画の中で配慮することで、水生生物の絶滅は防ぐことができる。従って、県の役割として、水深の深い場所・淵の確保などを優先課題として記載いただきたい。	三橋	ご指摘の事項は非常に重要であるため、優先課題として目標の一つ目の項目に追記する。	資料-4 (第4回懇談会資料) の p14 を修正・追記済み。(課題と目標の修正・追加) 課題：渇水時における水利用や流水の正常な機能維持に関する悪影響 ○河道における淵等の確保 県 <small>の役割</small> ・淵など深みの確保により、水生生物に対する渇水の影響の回避・緩和を図る。 ○正常流量の確保に向けた積極的な対応の推進
3	外来植物のアレチウリは猪名川全域に広がっていて、上流域でも非常に増えている。資料では、上流域は外来植物群落のない区間のように表現されているが、見直す必要があるのではないかと思う。 事務局には、外来植物の下流への拡散が懸念されるため対策が必要である等の趣旨の記載をお願いする。	檜原 大石	(三橋委員) 資料は平成 23 年現在の報告であって、現状では上流域で拡大傾向にあり、対策が必要だということをしっかり記載すればよいと思う。上流の多い所から駆除していかないと下流でいくら駆除してもすぐに広がってしまうので、対策の必要性を補足して、上流域の自治体等に認識してもらうことが重要である。	資料-4 (第4回懇談会資料) の p19 を修正済み。 ◆外来群落のない区間が本川中・上流部、塩川、初谷川上流などに見られる。 → ◆外来群落が本川中・上流部においても拡大傾向にあり、それに伴う下流への拡散が懸念される。
4	歴史・文化、景観のところで、板橋についての表現が「板どうしは鎖で結ばれていた」とあるが、流れ橋なので板と板は結ばれていないと思う。 確かに板どうしは鎖で結ばれてはおらず、岩に結ばれている。	檜原 丸橋		資料-4 (第4回懇談会資料) の p35 を修正済み。 板橋 石の上に板をのせた橋が架けられていた。板は岩に結ばれていた。
5	目標が掲げられているが、具体的にどうするという部分がかかれていないため、住民として、どのような形で協力したらよいかかわからない。今年度はこういうことができた、と言えるような施策を考えていただきたいと思う。	岡本	本日は目標の提示までを行い、具体的な対策については本日いただいたご意見も踏まえて、どのようにしていくのかを検討した上で、次回、整備計画の中で提示していきたいと考えている。	懇談会回答で済み。

	指摘・質問事項	委員	懇談会での対応	今後の対応
6	こういう方針でこのようにしていきたい、ということをご指導いただいた方が、我々住民としては応援・協力しやすい。国や県だけでやるのではなくて、住民を巻き込んだ形で考えていただければと思う。	岡本	大変ありがたいご提案いただいたと思う。その意味では、この懇談会を活用しながら、各地域住民の皆さんにご協力いただけるような体制や考え方をしっかりとつくっていききたいと思う。	資料-4（第4回懇談会資料）のp40に追記済み。 <前文> 「河川環境」は、多種多様な動植物の貴重な生息・生育の場を提供している。また、川の変化に富んだ自然な流れとその周辺環境の季節変化等が相まって、歴史文化的な景観や川らしさを感じる風光明媚な景観を形成している。そして、人はこうした自然環境や景観に接することで、川や水への親しみを覚え、親水の意識が高揚する。 こうしたことから、「河川環境」を生態系、水文化・景観、親水という3つの要素がつながった一体のものとして捉えることが重要である。
7	環境の目標は生態系、景観、親水と分けているが、内容としては一体のものであり、工事段階から住民を巻き込んだ形で河川整備を考えていただければありがたいと思う。また、アレチウリなどは繁茂する前に対策をとって、工事の際に土砂の再利用で種が広がるよといったことがないような配慮が必要である。	檜原		
8	環境の目標について3つの記載があるが、前文を入れて、2人の委員からの意見の趣旨を記載してはいかがか。	大石	前文でそういった趣旨のことを述べて、3つの目標に入るという形で修正する。	
9	資料の38ページ「課題の整理」では「猪名川らしい河川景観」という表現でまとめているが、40ページの「目標」に記載されている表現「歴史文化的な景観、川らしさを感じる風光明媚な景観」というような両方書いてもらうほうが具体的になるかと思うので検討いただきたい。	大石		資料-4（第4回懇談会資料）のp38を修正済み。 ・河道改修等による歴史文化的な景観や川らしさを感じる風光明媚な景観の改変
10	環境の目標について具体性を持たせるという意味では、重点的に対策をとる場所などを大きな方針として示し、もう一步踏み込んだ判断材料を入れるとよいと思う。また、3つの目標を合わせて考えていくということを前文に記載して、効率的に進めていければよいと思う。	三橋	ご指摘のとおり修正する。	資料-4（第4回懇談会資料）のp40に追記済み。（生態系の目標） ・必要な河積の確保を優先した上で、 <u>猪名川の生態系を支える重要な河川環境として、露岩、瀬・淵、水辺の植生及び河畔林等の可能な限りの保全・再生を図り、生物多様性の確保に努める。</u> ・ <u>本川中・上流部の多種多様な魚類の生息環境等、生物多様性の高い区間・範囲の拡大を図ることを念頭に置いて、河川横断工作物等による生物への移動阻害がある場合には、魚道等による移動の連続性の確保に努める。</u> ・ <u>上流域における外来種による生物多様性への影響や分布状況を把握し、関係機関・住民等との連携を図りながら、下流域への拡散・分布拡大の抑制等に努める。</u>

	指摘事項	委員	懇談会での対応	
11	小戸井堰の地点において、簡易魚道などによって魚が上れるようになればよいと思う。	楢原	小戸井堰のある区間は大阪府との府県境にあたり、現在、河川管理者間で治水計画に関する調整を行っている状況であるため、まだはっきりとしたことを示すことができないということをご理解いただきたい。	懇談会回答で済み。
12	朱橋から南に下ったところに「こんにやく橋」があるが、橋の正式な名称があると思うので、資料にはその正式名称を記載していただきたい。また、鶯の森のところに水害記念碑があるが、明治10年の水害について記された貴重な歴史的文化的財なので、きちんと保存することをお願いしたい。	丸橋	こんにやく橋の正式名称は調査し反映する。水害記念碑についても存置、保存に配慮していきたい。	「こんにやく橋」が正式名称であることを確認した。 
13	環境について重要な場所においては、高額のコストをかけずに実施できることがあれば、治水とは直接関係しなくても対策として取り入れていくことが、結果的には川に関心を持つ人、治水に対して関心を持つ人を増やすことにつながると思う。従って、環境単独での対策も盛り込んでいただければと思う。特に、大阪府との府県境を含む区間などは、治水面からの優先度だけでなく、環境面からの利点といった視点にも配慮して調整を進めていただければと思う。	三橋	環境単独での整備についても、横断工作物などにおいて、環境的に重要なところについてはできる範囲で着手したいと考えており、整備計画の検討の中で考慮していきたい。	資料-4（第4回懇談会資料）のp40に追記済み。（生態系の目標） <u>・本川中・上流部の多種多様な魚類の生息環境等、生物多様性の高い区間・範囲の拡大を図ることを念頭に置いて、河川横断工作物等による生物への移動阻害がある場合には、魚道等による移動の連続性の確保に努める。</u>
14	事務局には、利水と環境の目標と配慮事項について、本日議論があったところについて一部修正を求めて、次回提案、提示していただきたいと思う。	大石		以上の修正で対応済み。